

風と流れのプラットフォームの取組と成果

海洋研究開発機構 浅野 俊幸(プラットフォーム代表)

風と流れに関する様々な課題に対応した
風洞試験・数値シミュレーションの高度利用支援サービス

概要

民間企業や大学等が単独で保有することが困難な先端研究施設として、流体技術研究で相補的關係にある『風洞試験設備（アナログ風洞）』と『スーパーコンピュータ（デジタル風洞）』を共用に供し、**分野を問わず**、風と流れに関する様々なユーザーニーズに対応した高度利用支援を行い、流体科学に立脚する科学技術イノベーションを強力に促進することを目指しています。

『風と流れのプラットフォーム』の連携

- 民間企業の製品・研究開発に国内最先端の風洞実験施設やスーパーコンピュータが利用できます。
- 利用課題に適した施設の紹介と実験方法（風洞、スパコン）を提案いたします。
- これら施設の利用が未経験という企業でも手厚い技術支援で安心してご利用いただけます。

鉄道総合技術研究所(協力機関)

海洋研究開発機構(代表機関)
地球情報基盤センター

防衛装備庁(協力機関)

日本大学(協力機関)

東北大学流体科学研究所

京都大学防災研究所

九州大学応用力学研究所

宇宙航空研究開発機構
調布航空宇宙センター

連携効果

- 全国レベルで利用者ニーズに対応
- 目的と予算に応じた適切な実験施設の提案・支援
- 風洞実験と数値シミュレーションの融合による新たな価値の創出

『プラットフォームの活動と成果』

「風と流れのプラットフォーム」のホームページ上に日々の活動状況と成果の一部が掲載されています。



「風と流れのプラットフォーム」では、
風洞・スーパーコンピュータに複合的な利用支援をセットで提供します

風と流れのプラットフォームとは？

風と流れのプラットフォームは、産学官が共有可能な研究施設・設備等の整備・運用を含めた施設間のネットワークを構築し、高度な計測分析機器・計算機を中心としたイノベーション創出のためのプラットフォームを形成するとともに、日本の研究開発基盤の持続的な維持・発展に貢献することを目的とし

ご利用案内

課題を解決するには、どういった施設を併合して利用したら良いのか？ どれくらいの費用がかかるか？ 専門のスタッフが利用者の課題にあわせて提案します。まずは、お問い合わせください。

[続きを見る](#)

風と流れのプラットフォーム・シンポジウム2016



特定利用課題

平成29年度 風と流れのプラットフォーム 特定利用課題の公募について

風と流れのプラットフォームの特定利用課題を募集いたします。風と流れのプラットフォームは文部科学省 先端研究基盤共用促進事業（共用プラットフォーム形成支援プログラム）の支援を受けて国内5機関が実施する受託事業です。今回の公募では2件程度の特定利用課題を募集いたします。

[募集のご案内](#) [申請書](#) [\(申請書記入例\)](#)

1. 特定利用課題の募集期間

特定利用課題の募集期間は

平成29年8月23日（水）～平成29年9月13日（水）です。

BiCYCLE CLUB 7月号への掲載

2017年5月20日発売の株式会社樫（エイ）出版社「BiCYCLE CLUB 7月号」（表紙とP.74～93）で、「風と流れのプラットフォーム」JAXAでの風洞試験利用記事が掲載されました。

試験は2016年3月にJAXA 2mx2m低速風洞にて実施しました。

ユーザー：株式会社樫（エイ）出版者様

試験内容：自転車とホイール単体の力計測と流れの可視化



利用者へのきめ細かな支援

- ご利用に関するご相談やお問合せは、「風と流れのプラットフォーム」のホームページにあるワンストップサービス窓口にて承ります。
- 各実施機関では施設のご利用に係る助言・技術指導等のサポートを行える体制を備えております。
- 風洞実験や数値シミュレーションが未経験という企業様も歓迎いたします。

対象課題：物理・気象・海洋・天文などの理学や、航空・機械・土木・船舶・建築・化学工学などの工学、さらに医学・生物学・農学・スポーツ科学など



柔軟に対応いたしますので、まずはお気軽にご相談ください。